

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市計画に関する基礎調査事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課			
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全		主管課長	長橋 祐之			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内全域	意図	都市計画法第6条の規定に基づき、都市計画基礎調査を行い、現況及び将来の見通しを把握することで良質な市街地形成に寄与する。
事業内容	都市計画の策定とその実施を適切に遂行する為、千葉県が作成した調査マニュアルに基づき、都市の現状・都市化の動向等について、産業・土地利用・建築物等の現況及びその見通し等の広範囲なデータを把握する。			
事業開始から現在までの状況変化	概ね5年毎に千葉県下で一斉に実施しており、平成23年度の前回調査に続き、平成28年度に実施した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		流山市は住み心地が良いまちであると思う市	79.30	77.20	79.50	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	調査項目 ・住区調査 ・土地利用現況調査 ・非可住地調査 ・都市的未利用地調査 ・宅地開発状況調査 ・建物利用現況調査 ・大規模小売店舗等の立地状況調査 ・公共公益施設の立地状況調査 ・災害の発生状況調査 ・防災拠点、避難場所調査				
事務事業の総コスト(a=b+c)			7,044,400					
事業費(b)(円)			4,298,400					
うち一般財源			1,944,000					
職員給与費(c)(円)			2,746,000					
人役・職員(人)			0.40					
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	新規事業により記載なし。	取組の課題	調査結果のアウトプットが多いことから、できるだけ作業は電子化していくことが望ましい。
今年度(H28)に実施した取組	新規事業により記載なし。	今後の改善計画	概ね5年毎の調査であり、次回の調査においては、千葉県に更なる電子化を求めていく。